

Q

新型コロナウイルスワクチン接種について情報公開を

A

ホームページで適宜公開していく



いしかわ まさひさ 石川 克正



映像はこちらから

このたびの職員不祥事を受けて報告があり概ね了解できたが、構造的な課題への指摘もあると思う。行政の信頼回復においても外部の調査が必要と思うが。

調査については弁護士と警察署に相談させてもらいながら進めてきた。警察には適宜、情報提供を行い、それを受けて警察独自に事実確認を行っているという。市長からは改めて全職員に対して、服務規律の確保及び公務員倫理意識の徹底について指示があった。信頼回復に向け再発防止に努めていく。

Q

世界かんがい施設遺産の備前渠用水路の保存理念は

A

土地改良区と協力し、適切な保存に努めていく



まき いちろう 茂木 一郎



映像はこちらから

備前渠用水の多面的な機能とは。まず、農業用水として、沿線の田んぼ等に水を供給している。次に防排水として、火災時に用水路の水を利用できる場合がある。次に親水機能として、癒しの空間の創出や地域の憩いの場となっている。次に環境保全として、素掘り水路のため、開削当時の風景が残り、様々な生き物の繁殖の場となっている。最後に洪水防止として、網の目のような水路で一時的に雨水が貯留されることで、下流への負担を減らしている。



備前渠用水路の鉄橋

備前渠用水路の保存理念は。備前渠用水路を所有・管理している備前渠用水路土地改良区に、保存についての考え方を伺ったところ、『備前渠用水路は、千六百年代初頭に一年という短い工期で、当時は最先端の技術により掘削され、今も当時のままの状態が残っている、歴史的にも非常に貴重な農業遺産である』



オックスフォード大学 Our World in Data より参照

Q

HPVワクチン、現状と今後について問う

A

対象者に個別通知をはじめ情報提供と周知を継続する



なか や ひさこ 中 矢 寿子



映像はこちらから

定期接種対象年齢を過ぎてても未接種の方々がいる。自費で接種する場合3回で約5万円かかり、高額なため接種を諦めたという声もある。今後、国が積極的勧奨を再開すると判断した際に、定期接種機会を逃した方々にも、同等の機会を設けるような救済を考えているのか。

定期接種と任意接種では、健康被害が生じた場合の救済制度が異なる。任意接種への救済として費用助成を行うことは、市が積極的勧奨することになるため、現時点での費用助成は考えていない。

Q

新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況を聞きたい

A

概ね順調。希望者全員に接種可能と思われる



しば さきしげ お 柴 崎 重雄



映像はこちらから

ワクチン接種状況が65歳以上は90パーセントとなっているが、エッセンシャルワーカー、基礎疾患を有する者、若者等への接種進捗状況を聞きたい。また、ワクチン異物混入など回収騒動があり供給量に不安があるが、供給状況はどうか。

予約開始状況は、8月6日から基礎疾患を有する者、8月16日からエッセンシャルワーカー等、8月25日から50歳以上64歳以下、9月1日から12歳以上49歳までを開始した。また、ワクチン供給量については徐々に回復してきており、計画の遅れの可能性はあるが、希望者全員へのワクチン供給は遂行できると考える。

この10年、様々な公約が実を結んでいる。年明け早々に市長選挙を控えて、市長の所信を伺いたい。

新型コロナウイルス対策に全力で取り組んでおり、所信については、もう少し時間をいただきたい。



深谷大河ドラマ館外観

HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）は、国の基金事業を経て定期接種となり、対象者が希望すれば無料で接種が可能となったが、副反応問題から積極的勧奨が差し控えられる、7割近かった接種率は1パーセント未満に激減したと聞く。昨年10月に国から、定期接種対象者への情報提供に関する指示があったようだが、本市の対応と今後の予定について聞きたい。

子宮頸がん予防にはこの2つがとて大切。 HPVワクチンで予防する。 子宮頸がん検診で予防する。 [定期接種対象] 小学校6年生～ 高校1年生相当の女の子。 20歳を過ぎたら 定期的な検診を

7月3日に深谷大河ドラマ館がリニューアルされた。今回は栄一に大きな影響を与えたバリ万博を中心に、